

事務事業名	菅谷たたら山内保存修理事業		所属部	教育委員会	所属課	文化財課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	文化財・文化振興G	課長名 角田 徳幸
	施策名	〈31〉地域文化の振興		担当者名	高橋 誠二	電話番号:0854-40-1075 (内線):2231
	目的対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。		
	基本事業	〈089〉地域文化の保存継承		予算科目	0:1:5:0:0:1 2:5:4:5:0:6	大事業名 社会教育施設管理事業 中事業名 菅谷たたら山内保存修理事業
目的対象	市民	意図	地域文化を次世代に伝える。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
菅谷たたら山内 各施設	防災工事の完了
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H24 年度～ R8 年度)	菅谷たたら山内保存修理工事 対象施設 高殿:入母屋造こけら葺1棟 334.9㎡、元小屋:切妻造こけら葺1棟 293.8㎡、米倉: 切妻造こけら葺1棟 58.1㎡、山内祠・金屋子祠・元山祠・牛頭天王祠・愛宕秋葉金刀比羅祠・拝殿5棟、三軒長屋:切妻造こけら葺1棟、桂の木1株
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①工事監理業務委託契約事務 ②実施設計業務委託契約事務 ③保存修理工事請負契約事務 ④工程管理協議 ⑤次年度事業内容協議	・国指定文化財の保存修理では、計画どおり適切な調査、設計、施工を行なった。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 実施設計進捗率(防災工事)	%	※	※	※	20.0
イ 工事進捗率(防災工事)	%	※	※	※	10.0
ウ 実施設計進捗率	%	87.0	91.0	100.0	※
エ 修理工事進捗率	%	82.0	89.0	100.0	※

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	財源内訳	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
報償費91千円、消耗品費56千円、委託料9,702千円、工事請負費75,152千円		国庫支出金	千円	25,000	37,500	42,500	5,000
【財源内訳】 地方債:過疎債(28,300千円)	県支出金	千円	8,333	12,500	14,166	1,250	
	地方債	千円	16,700	25,000	28,300	3,700	
	その他	千円					
	一般財源	千円	63	86	35	60	
	事業費計	千円	50,096	75,086	85,001	10,010	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・平成24年度から着工した「菅谷たたら山内保存修理工事」は、令和4年度の「三軒長屋」の完了をもって終了した。令和5年度からは「防災施設整備工事」と「保存活用計画」の策定をおこなう。
② 事業実施するうえでの課題	・令和5年度から3か年予定で「菅谷たたら山内防災設備工事」(避雷針と放水銃の新設)を実施する予定だったが、三軒長屋付近の菅谷川護岸が崩落していたため、その修理工事と着工前の試掘調査が追加となったため、工期延長と事業費の増加が想定される。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国及び県への働きかけを強め、早期に保存修理工事が完了することを目指す。